

～ISO9001プロセスアプローチによる不正防止～

“品質コンプライアンスの 進め方” セミナー

開催日時 2026年 7月 8日(水) **オンライン**

2027年 2月 3日(水) **オンライン**

各回とも 10:00～17:00

受講対象

- 経営幹部
- 品質保証部・コンプライアンス関連部門
- 工場・事業所の責任者・実務担当者

講師

小林 久貴 氏

株式会社小林経営研究所 代表取締役

参加料(税込)

日本能率協会法人会員: 41,800円/1名

JMAでISO審査を受けている企業: 41,800円/1名

上記会員外: 47,300円/1名

※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。

※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。

<https://www.jma.or.jp/membership/>

※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。

ねらい

企業の品質データ改ざん、不正検査結果の報告等は、なかなかなくなる大きな問題です。

それらが行われていた場合、原因を徹底的に究明し、再発防止策を講じなければならないのは当然ですが、そもそもそのような問題を未然に防ぐことできないのでしょうか？

「ISO9001(品質マネジメントシステム)のプロセスアプローチの考え方」は、その解決策の一つとされています。

本セミナーは、品質コンプライアンスを徹底するために、ISO9001をいかにツールとして活用するか、を考えていただくことを目的に開催いたします。

※品質コンプライアンスとは……「品質」において、社会規範に反することなく、公正・公平に業務遂行すること、また、顧客の指示や要求に応じ、果たすべき務めを果たすこと、を意味します。

■ プログラム

10:00～17:00 [昼休み] 12:30～13:30

◆ ガイダンス

1 品質コンプライアンス違反を引き起こす
4つのオーバー (4over)

2 品質コンプライアンス違反を止められない
3つのバッド (3bad)

3 4オーバー・3バッドへの対応方法

事例研究(演習)

4 品質マネジメントシステムへの展開

5 プロセスアプローチの考え方

6 品質コンプライアンスリスク分析

7 品質コンプライアンスにおける
プロセスアプローチの活用

8 プロセスアプローチ監査の有効活用

事例研究(演習)

◆ 質疑応答

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

